

# 図面作製を自動化

トンネル照明

オリコンサル 数量算出なども

オリエンタルコンサルタツは、更新期に差し掛かったトンネル内の照明設備を対象にした設計支援システムを開発した。設計計算や図面作製、数量算出といった一連の設計業務を自動化。各プロセスで発生していたミスを未然に防止する。業務を効率化する設計ツールとして、受託業務に適用する方針だ。

開発した設計支援システムの名称は「トンネル照明自動設計システム（TLA D）」。同社が開発を進めている自動化システムの初

弾に位置付ける。過去の業務で熟練技術者が手掛けていた図面作製の手順などをオートデスクが開発するソフトウェア「Dinamo」でプログラム化。照明の設計計算や図面作製、数量算出などを自動で算出する仕組み。品質確保と業務効率化を両立する。

トンネルの照明設備は一般的に15年程度で老朽化するという。対象となるトンネルの更新条件などを考慮しながら、発注者ニーズに応じた設計計画に仕上げるには専門技術が必要だっ

た。照明設備の選定といった仕様の決定にも多くの時間がかかっていた。